

2025 年 11 月 27 日

デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社

DAIKO XTECH 株式会社

DIT・DAIKO XTECH・D&・北海道北斗市、 IoT デバイスを活用した下水管路内 AI 画像診断の実証実験に関する 四者協定を締結

デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長執行役員：市川聡、以下 DIT）、北海道北斗市（市長：池田達雄）、DAIKO XTECH 株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長CEO：松山晃一郎、以下 DXT）、DXT グループ会社である株式会社ディアンド（本社：東京都新宿区、代表者：信藤哲也、以下 D&）は、2025 年 11 月 18 日に「IoT デバイスを活用した下水管路内の AI 画像診断技術の実証実験」に関する四者協定（以下「本協定」という）を締結いたしましたので、お知らせいたします。



（左から：D&佐藤取締役、DXT 松山社長、DIT 市川社長、北斗市池田市長）

■ 本協定締結の背景と目的

近年、全国的に上下水道管路の老朽化が深刻化しており、腐食や破損による漏水・陥没被害が社会問題となっています。北海道北斗市においても、整備から長期間を経過した管路が増加しており、破損リスクの把握や限られた人員による効率的な点検・維持管理の実現が求められています。

そのような中で、DIT、DXT、D&、北海道北斗市が連携し DX 推進に取り組み、AI・IoT・データ利活用などデジタル技術の高度化を進めてまいりましたが、こうした上下水道管路の老朽化に伴う課題の解決に向けて、デジタル技術を活用した実証に取り組むことといたしました。



た。具体的には、浮流式 IoT デバイスを用いて下水管内部を撮影し、その画像を AI 技術で自動解析することで、腐食・損傷の早期検知や点検業務の省力化を実現します。これにより、安全性を最優先とする管路マネジメントの確立を目指します。

■ 今後の展望

DIT は、地域企業と連携し、北斗市における地域雇用の促進や DX 推進を通じて、地域経済の活性化に取り組んでまいります。今回の協定締結を踏まえ、具体的なプロジェクトの推進や技術導入をさらに加速させ、持続可能な地域発展の実現を目指します。

【会社概要】

社名 : デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社
上場市場 : 東証プライム（証券コード 3916）
本社所在地 : 東京都中央区八丁堀 4-5-4 FORECAST 桜橋 5 階
代表者 : 代表取締役社長執行役員 市川聡
設立 : 2002 年 1 月 4 日
資本金 : 4 億 53 百万円（2025 年 6 月末時点）
URL : <https://www.ditgroup.jp/>
事業内容 : ソフトウェア開発事業

社名 : DAIKO XTECH 株式会社
上場市場 : 東証スタンダード（証券コード 8023）
本社所在地 : 東京都新宿区揚場町 2-1 軽子坂 MN ビル
代表者 : 代表取締役社長CEO 松山晃一郎
設立 : 1953 年 12 月 1 日
資本金 : 19 億 69 百万円（2025 年 3 月末時点）
URL : <https://www.daiko-xtech.co.jp/>
事業内容 : IT インフラ構築からシステム開発・運用まで、企業のデジタル変革を支える
総合 IT ソリューション事業

【本件に関するお問い合わせ】

デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社
TEL : 03-6311-6520 （担当 : DX ビジネス事業部 土岐）
E-mail : doki.kohei@ditgroup.jp

デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社
TEL : 03-6311-6520 （担当 : IR 部 榎本）
E-mail : ir_info@ditgroup.jp